

## 1 調和級数

以下のようなループの回数を解析する.

```
for (size_type i = 0; i < n; ++i)
    for (size_type j = 0; j < n; i += j)
        ...
```

$i$  を固定したとき, 内側のループは  $\lfloor n/i \rfloor$  回なので, 全体は以下ようになる.

$$\begin{aligned} \left\lfloor \frac{n}{1} \right\rfloor + \left\lfloor \frac{n}{2} \right\rfloor + \cdots + \left\lfloor \frac{n}{n} \right\rfloor &\leq \sum_{i=1}^n \frac{n}{i} \\ &= n \cdot \sum_{i=1}^n \frac{1}{i} \\ &= n \cdot (\log_e n + \gamma + \varepsilon_n) \\ &\subseteq n \cdot (\log_e n + \gamma + o(1)) \\ &\subseteq n \log_e n + \Theta(n) \\ &\subseteq \Theta(n \log n). \end{aligned}$$

定数倍を細かく見ることはなさそうなので,  $\Theta(n \log n)$  回と見るが多そう.

## 2 最小値を選ぶやつ

これはたぶん特殊な例. 適宜一般化する.

$\Sigma$  上の長さ  $n$  の文字列を考える.  $n_\sigma$  を文字  $\sigma$  の出現数としたとき, 以下の式を解析する<sup>\*1</sup>.

$$\sum_{\sigma \in \Sigma} \min(n_\sigma^2, n \log n).$$

これが最大となるのは  $n_\sigma^2 = n \log n$  のときのはずで, 以下のようになる.

$$\begin{aligned} &\sum_{\sigma \in \Sigma} \min(n_\sigma^2, n \log n) \\ &= \sum_{\sigma \in \Sigma} \sqrt{n_\sigma^2} \cdot \sqrt{n \log n} \\ &= \left( \sum_{\sigma \in \Sigma} n_\sigma \right) \cdot \sqrt{n \log n} \\ &= n \cdot \sqrt{n \log n}. \end{aligned}$$

$\min$  の引数のうち, 片方が  $n$  に依存していて, 他方が束縛変数に依存している場合に, それらが等しいとおいて変形する? 束縛変数のみの式にして, 閉じた形にできるとうれしい.

---

<sup>\*1</sup> 二種類のアプローチのうち, 効率的な方を選ぶ場合の計算量解析など.